

第5回豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 会議録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和3年4月28日（水） 午前10時～午前11時
開催場所		オンライン会議
議 題		(1) 第4回検討委員会議事録について (2) 豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会設置要綱の 改正について (3) 豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン（仮）について (4) 意見交換
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区審議会等の会議の公開に関する要綱第4条第1項第3号 各委員の所感・感想・意見等を忌憚なく発言して頂くため
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	柴田 彩千子（委員長）、山本 聖志、野村 友彦、佐藤 洋士、 新井 裕、清田 明、松浦 和代、青木 正典、山本 道子、 御代 恒、安藤 和子、高橋 京子
	そ の 他	教育施策推進担当課長、指導課長
	事 務 局	教育部庶務課教育施策推進グループ

審 議 経 過

No. 1

教育施策推進 担当課長	議第（１）～（３）について説明
委員長	説明された内容に対して質問や意見はあるか。
A委員	まず資料２ページ目上部の文字はなんと書いてあるのか。協働か。 同じ目次の（３）に魅力とあるが、他の言葉と違い思い入れがあるように感じるが、事務局としてはどう考えているのか。
教育施策推進 担当課長	ここではメリットを表現したいと思っている。 子ども、保護者、地域関係者それぞれにとってコミュニティ・スクールを導入することによってこういう風な魅力やメリットがあるという事をここで記載したい。
A委員	事務局の思いのこもった言葉だと思う。 普通だと期待される成果、意義と書くところ。そう書かずに魅力と書いているので、このところについて意見があるかもしれない。
委員長	目的・特徴・魅力とあるが、意義・期待される効果など他の言葉もあるのではないかとの意見。
教育施策推進 担当課長	魅力という言葉の意味合いに違和感があるということか。
A委員	目的・特徴はよく分かるが、魅力は発信する側の思い込みみたいなものが浮かべられないか心配している。事業を行うなかでメリットもあれば、同時にデメリットも存在する。そのあたりを考えるとプラス面だけを前面に押し出すのもいかなものかという事で指摘した。
委員長	他に意見はあるか。
B委員	委員構成のところで、保護者・地域関係者・学識経験者で10名程度、校長先生は学校運営管理者として参加するという事で、今までのように学校が主体的に説明して決めていくというより、三者共同で子どもたちの教育環境に対して活動を決めていくという認識でよろしいか。
教育施策推進 担当課長	おっしゃる通り。対等な立場で一緒に考えていくのが学校運営協議会の趣旨。

B委員	<p>9ページの(8)PDCAサイクルのイメージで示されており、保護者・地域・児童生徒・関係機関などが意見や要望、アンケート等を出来るという図があるが、児童生徒や管理職でない一般教員の意見、実際に学校の中での問題や課題などの生の声を聴く場を設けることをここで示してほしい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>生の声というようなところで学校評価アンケートがあるが、学校と地域関係者や保護者の交流の場が必要だと思っている。そこに児童生徒の声を入られると良いというのは、おっしゃるとおり。</p> <p>学校運営協議会や地域学校協働部会との児童生徒との交流の場をここで記載できたらと思うので、今頂いた意見を踏まえ修正したい。</p>
B委員	<p>学校という場が職場としても楽しく、子供たちも楽しく通える場であることが大前提だと思う。保護者の方は様々な価値観の方がいると思うので、そこを合わせていくために声を聴いて行かないと。</p> <p>今までの学校運営連絡協議会も組織のリーダーが発言しそれを聞いて終わりという形だったので、もっと現場の生の声を聴きたいというのが私の意見。</p>
指導課長	<p>今B委員からもあったが、CSを実施している学校は学校運営協議会、CSをやっていない学校は学校運営連絡協議会という形。昨年度から学校評価検討委員会の中で、先生方の声や児童生徒の声を学校の運営に生かしているかを検証していくことになり、学校評価について見直しを図ってきた。</p> <p>B委員がおっしゃるとおり、学校は地域の方々からの色々な声をひろっている、聞いている。具体的に言うと運動会や学芸会、学習発表会、豊島土曜公開などでアンケート等でいろいろいただいている。年度末になると1年間の学校の様子についてどうだったかというアンケートをとるが、そこだけを取り上げて評価しがちじゃないかと。場面場面で色々な声を拾うという事を提案している。校長会等でも話しをしている。</p> <p>要するに学校運営連絡協議会・学校運営協議会のもち方そのものを、しっかりと声を吸い上げる、校長だけでなく学校現場の先生方がどういう目的で授業や行事をやっているか紹介しながら活発な学校運営協議会、学校運営連絡協議会ができるようにしていこうと話している。</p> <p>アンケートだけでなくそういう協議会に委員の方だけでなく先生方が時々入り紹介や声を伝えることで活性化できるのでないか。豊島区内の幼稚園・小学校・中学校全体でやっていかななくてはいけないと考えている。</p>
委員長	<p>これから地域住民や一般教員、保護者、児童生徒の生の声をしっかり聴いて、それを生かしていく方向性にするためにこのCSを生かしていくという方針。</p>

	<p>では他に質問や意見はあるか。</p>
C委員	<p>8ページの(4)事務局について伺いたい。</p> <p>この図だとなかなかイメージが湧かないので、位置づけや役割をもう少し具体的に話してほしい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>CSのモデル事業や学校運営連絡協議会では、副校長先生がメインになり会議を運営していた。今回のCSでは学校、保護者、地域関係者が対等な立場で構成する合議体の組織なので、みんなで運営していくのが良い姿なのではないかという事で記載している。</p> <p>実際にCSマイスターの井上先生がやっている杉並区の学校でも、最初は学校主導だったが少しずつ保護者や地域関係者の方が事務局として議事録や資料を作ったり、議題は何が良いかと話すようになったり、学校・保護者・地域関係者みんなで事務局運営をやっているという話を聞いている。言葉足らずなところがあるので、分かりやすい表現で記載したいと思うが、事務局でイメージしているのはそういった所。</p>
C委員	<p>そうすると活動予算の管理も今後状況によっては含まれていくのか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>実際にどのように活動予算を執行するのかという細かいところまでは決まっていない。</p> <p>活動予算というのは学校運営協議会と地域学校協働活動を行うための予算なので、学校と関係者で決めていくことだろうと思っている。</p>
委員長	<p>確認だが、学校運営協議会のなかに地域学校協働部会があり、地域学校協働部会は学校運営協議会が設立された後に話し合いによって、各学校の特色や課題に合わせて必要なものを設置していくというところから各学校がスタートするという理解だったと思う。</p> <p>他に意見や質問はあるか。</p>
D委員	<p>地域学校協働部会はPDCAサイクルの中に標記されないのか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>学校運営協議会の中の組織という事なので、記載していない。</p> <p>入れた方が分かりやすいという事であればここに記載していきたい。</p>
委員長	<p>学校運営協議会と地域学校協働部会の関係性を表す図式化したものが必要という意見だったので検討をお願いします。</p>

A委員	<p>他に質問・意見はあるか。</p> <p>7 ページについて現段階で結構なので、事務局の話を伺いたいところがある。ガイドライン全体については豊島区が今後進めていく CS ということで、これまでの検討の経過がコンパクトにまとめられていると思うが、学校から見たときに表現が少し引っかかる、分かりにくい点がある。7 ページの②学校から見た魅力の 2 つ目と 3 つ目が分かりにくい。</p> <p>子どもに向き合う時間や質の高い授業作りのための時間が確保できるとあるが、そうなれば大変喜ばしいことだが具体的にはどんなことを指しているのか。学校の課題について一緒に対応することができると思うが、今一つイメージしづらいと思う。時間の確保、一緒に対応というのが例えばこういう事というのが分かると、ガイドラインを手にしたときに各学校も魅力や成果をイメージしやすいと思う。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>ここでイメージしているのは地域学校協働活動のなかで学校支援という所。視察や経験談を聞いていくと、学校支援という所で教員が 1 人でやっていることを地域の力を借りることで時間が確保できる、時間ができるという話をいただいている。</p> <p>新しいことをやることによって負担が増えるという意見もあるが、実際やって上手くできている所は地域の支援をいただき、協働で授業作り等の活動ができています。そういった所で記載している。</p>
指導課長	<p>今協働で授業作りをしようとする、学校が支援してくれる人を探して人を入れている状況がほとんどだと思ふ。上手く地域との連携ができると、地域の方でどんな支援をしてくれる人がいるのかという人材のリスト、バンクができる。地域にどんな方がいるのかというのを学校が把握しなくても地域の方たちの中で把握していることを情報共有出来るようなシステムになる。そこをうまく活用しながら、負担感なく学校運営、学校経営のところにも地域の方々が一助となって入っていただけるとはイメージしている。</p> <p>同じように学校の課題についても、学校でおきた出来事を学校の中だけで完結するのではなく、地域と一緒に解決していくこともイメージしている。例えば生活指導についても、背景に保護者との関係づくりであったり、学校外のところで子どもたちが抱えていることを学校の中に持ち込まれて、学校で解決するのが大変困難になっているケースがある。風通しが良くなり、解決する時間の速度や関わりの様々な会議体についても改めて会議を開かなくてもコンパクトにできるのではないかとイメージしている。</p>

A委員	<p>よく分かった。そういうことが大事だと思う。</p> <p>これまで十分でなかった機能が CS によって充実していったり、これまで成し得なかったことができるようになったりする可能性が広がっていく観点で大変期待される部分だと思う。</p> <p>9 ページ PDCA サイクルのイメージ図の中で、学校評価の矢印が学校評価をしてどうするのかが表れていない。一つは公表する努力をする義務を持っているということで、保護者・地域・児童生徒・関係機関に向けて HP を通じて公表するという矢印が双方向的には必要だと思う。</p> <p>一番大事なのは学校評価が次の教育活動の改善につながるのが PDCA の A になると思うので、そのところをもう少し工夫してほしい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>今学校評価から出ている矢印は翌年度の学校経営計画への反映しか記載がないので、いただいた意見を踏まえもう少し考えていく。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
C委員	<p>7 ページの魅力のところの④地域関係者にとっての魅力について、一番最初に経験を活かすことで生きがいややりがいに繋がるとあるが、地域にいる方で様々な能力や過去の経験がある方が結構いる。そういった方と学校教育がうまく結びつくのは非常に良いことだと思う。</p> <p>3 番目の地域の防犯・防災体制等が構築できると言い切っているが、これは町会との関係や防災体制となると区の防災関係との兼ね合いもあるので、ここで言い切るのはどうなのかと思った。</p> <p>その辺はどう考えているのか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>まず経験を活かすことで生きがいややりがいに繋がるという所は、A委員の質問にも繋がることだと思う。魅力をもう少し分かりやすく、活動を通してそれぞれの立場から見たメリットを記載しているので分かりやすい形で考えていきたい。</p> <p>ISS 活動のところについては勇み足かなという事が、ご指摘で分かったのでもう少し記載を考える。</p>
委員長	<p>他の委員の方はいかがか。</p>
E委員	<p>まず7ページの学校運営協議会の役割の所で、いわゆる法定のCSで示されている内容は①～③をやっているればCSであるという認識。豊島区の場合はそれに加えて④、⑤を位置づけていくという認識でよいのかというのが1点目。</p>

<p>教育施策推進 担当課長</p>	<p>その下の熟議について、1の多くの当事者が集まると記載があり、おそらく国が言う熟議もこういう事だろうと思うっているが、他のページを見ると学校運営協議会が熟議を兼ねているように取れる記載がある。学校運営協議会の委員だけで熟議をやる認識でなく、熟議を学校運営協議会が主催して学校が広く意見を聞ける場を作っていくという認識でよいかというのが2点目。3点目は、8ページの委員の構成について。10名程度となっているが現時点で池袋本町小の委員は10名を超えている。委員報酬に関係が出てくると思うので、10名程度というのが、どれくらい許容があるのかという所。予算との絡みが出てくると思うので、そのあたりを教えてください。</p> <p>10ページの年間の主な活動内容について、前回の協議会を踏まえて経営方針の承認・協議という内容が入ってきているという事だと思う。例えば私のように4月に異動してきた者が経営方針について承認をいただくタイミングが教育委員会に報告するタイミングと時期的に合うのかどうかを上手く調整していただけるとありがたい。</p> <p>前年度から引き続き同じ校長の場合は、教育課程との関係で経営方針を3月のうちに承認をいただくことも十分可能なのではないかと思う。これはあくまで例なので弾力的に扱えば良いという話であればそういう形になると思うが、そのあたりについてもご示唆をいただけたらありがたい。</p> <p>まず7ページ学校運営協議会の役割についてはご指摘のとおり。法定のものは①～③。さらに今まで学校運営連絡協議会等で培ってきたやり方の学校評価等を豊島区では加えている。熟議についてもおっしゃるとおりで、学校運営協議会だけでやるものではない。</p> <p>書きぶりが不足している所は修正する。</p> <p>例えば前回年度末に報告会をやるのが良いのではないかという話もあったので、そこで報告だけでなくワークショップ等ができれば熟議になる。今の意見を踏まえそこは修正していきたい。</p> <p>委員報酬の10名程度という所も、池袋本町小は16名程度いる。中にはスキップ所長や池袋中学校長等の報酬が出ない委員も含まれているので、基本的には10名を超えて15名程度。この書きぶりももう少し考えていきたい。</p> <p>学校運営連絡協議会も大体10名程度なので、基本的にはこういった形で考えている。</p> <p>最後に年間活動例は、あくまで例。実際異動したタイミングだったりでなかなか4月に出来ないことはあると思う。そこは適宜学校ごとにやっていただきたいと思う。ここで大事なのはPDCAを意識できないかと思い例示しているので、書きぶりは考えていきたい。</p>
------------------------	--

<p>E 委員</p> <p>教育施策推進 担当課長</p>	<p>9 ページの PDCA について、学校評価が独立して置かれている。これが誰が主催なのか分かりづらい。</p> <p>実際は学校が主催のはず。小中学校の組織活動の枠から外れていて良いのかという所は、見栄えとしてどうか。</p> <p>ご指摘のとおりだと思うので修正する。</p>
<p>委員長</p>	<p>学校評価と言っても学校の自己評価や保護者・住民の関係者評価、あるいは第三者評価が入る場合もあるので、書き方については修正の必要があると思う。</p> <p>他に意見や質問はあるか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>主任児童委員としてお話すると、コロナで卒業式や入学式に学校運営協議会委員でないと参加できなかった。私たちは色々お世話している立場で卒業生に声を掛けたかった等の意見があった。学校運営協議会委員は卒業後も保護者との繋がりを持つことができたが、参加できなかった人は、最後を見ることができずとても残念。進学した後にお声がけするのは、難しい。</p> <p>委員構成に民生児童委員が入っているが、主任児童委員を改めて入れていただけると活動しやすい。地域の子供の声が一番入って来るのは主任児童委員なので、メンバーに入れていただきたい。</p>
<p>教育施策推進 担当課長</p> <p>委員長</p>	<p>ここの記載は例なので、誰を委員にするかは各校の判断。例示として主任児童委員を加える。</p> <p>他に意見や質問はあるか。</p>
<p>G 委員</p>	<p>11 ページの 4 番の豊島区 CS の推進という所で令和 3 年の 4 月からモデル事業の実施とあるが、これに委員が関わっていくのか。学校から学校運営協議会や ISS がコロナの影響で中止になったと連絡があった。</p> <p>今後こういう活動はできないような気がしているが、コロナの影響もある中で計画がどのようになるのか聞きたい。</p>
<p>教育施策推進 担当課長</p>	<p>モデル事業の実施は令和元年度からやっている。令和元年度から引き続きの活動。表が分かりづらいので修正したい。</p> <p>昨年度からコロナの影響でこれまでのような十分な活動ができていないというのは認識している。</p> <p>モデル事業の実施の中で課題を経て、ガイドラインを検討委員会で検討して</p>

	<p>きた。5月には一定の成果として整えたいと思っている。それを8月の本格実施に向けてやっていきたい。</p> <p>モデル実施と本格実施は何かが変わるわけではない。このガイドラインに則り、また今までの活動を引き続きやっていただきたい。今は緊急事態宣言でCSもISSも書面開催になると伺っている。様々工夫しながら学校で進めていきたいと考えている。</p>
G委員	<p>池袋本町小の委員として取り組んでいるが、校長先生と入学式で少しお会いしただけで、まだ何もお話出来ていない。これからどうなるのかという心配があるので、コロナ禍であってもお話の場を設けてほしい。</p>
E委員	<p>個別にお話する機会は設けたいと思っている。</p> <p>今回の学校運営協議会は先程お話が合ったとおり書面開催で行う。資料を送付しご意見を頂ける工夫をしたい。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
H委員	<p>子どもたちにとっての魅力の中で、体験活動の充実とある。池袋本町小は児童数が多い中で、どのように地域に出て行き学ぶまでどのように取り組んでいくのか。今は具体的でなくてもいいので教えてほしい。</p> <p>また学校にとっての魅力で、授業づくりは大変な部分も多いので、地域の方に手伝っていただけて授業づくりができるのは魅力であると思う。</p> <p>ここでは関係ないかもしれないが地域の方に助けていただくというところでは、子ども教室に全然ボランティアがいない。地域がとても充実しているので、スキップも助けていただきたい。</p> <p>学校にとって地域の方を入れて事業を行う中で、教職員の心の負担はないのかと気になる。地域に見られるので、色々な意見が出ると教職員の方は大変だと思う。</p>
教育施策推進担当課長	<p>体験活動の所は各校で様々な活動を行っていたり全国的にもCSの事例があるので、そういったもので教職員もイメージができると思っている。</p> <p>放課後子ども教室は、昨年1年間何もできなかったこともあったり、地域コーディネーターの方がいるのでぜひ地域協働部会にも入ってほしいと思っている。場所によっては、ボランティアが集まりづらかったり教室の活動自体が今行われていなかったりするので、放課後対策課とも連携していきたい。</p> <p>教員の負担のところ、昨年度池袋本町小と千登世橋中で教職員の方と委員の方を対象に行った研修のアンケートで、やはり教職員の方は負担が増える</p>

委員長	<p>のではないかと心配していた。</p> <p>研修講師の井上先生がおっしゃるには、1年目は負担が増える、2年目以降は培ってきたノウハウや地域の方々との交流の場が設けられることによって、教職員と地域の方との関係ができて楽になる。</p> <p>最初は負担が増える部分もあると思うが、将来的には地域の方々の協力のもと、子どもに向きあう時間ができるようにやっていく。そういったところが分かりやすいように、魅力のところに記載していく。</p> <p>他に意見や質問はあるか。</p> <p>それでは、時間となったので意見や質問があれば個別にお問合せいただければと思う。</p> <p>本日の検討委員会はこれにて閉会したいと思います。</p>
-----	--

会議の結果	事務局からの説明について各委員からご意見を頂いた。
提出された資料等	<p>(資料1) 第4回検討委員会 議事録</p> <p>(資料2) 豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会設置要綱 (令和3年4月1日改正)</p> <p>(資料3) 豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン (仮)</p>
その他	